

## ビジョン・ゼロを実現する交通安全文化と安全システムのアプローチ

ニコラス ウォード

モンタナ州立大学教授、安全衛生文化センター長

現在、交通安全における文化の役割についての関心が高まっています。特に交通安全文化は、交通事故による死亡者や重傷者をなくすというビジョン・ゼロを達成する安全システムのアプローチに欠かせない要素であると考えられます。交通安全文化とは、「道路利用者の行動や関係者による交通安全対策に影響を与える、人々の共有信念体系」とであると定義することができます。このプレゼンテーションでは、交通安全文化について考察し、交通安全文化の一つのモデルに基づく戦略の例を示します。また、ビジョン・ゼロを支援する安全システムを確立する上で交通安全文化が果たす役割についても考察します。交通安全に関する従来のアプローチとは対照的に、これらを重要要素と捉えることで、交通安全を、長期間、継続的に改善していくことが可能になります。